

センター婦人がん検診

☎ 保健女性センター 64-8992

と き ○6月1日(木) ○6月19日(月)
13:30~14:15

ところ 保健女性センター

内 容 子宮頸がん・乳がん検診

対 象 30歳以上の女性

受診料 1,100円 (70歳以上の人などは無料)

申し込み 電話で保健女性センターへ
予約してください

※不正出血・子宮筋腫などがある人は
医療機関での検診をお勧めします。

家庭介護教室

☎ 保健女性センター 64-8993

上手な介護の仕方を学びませんか。
と き 6月1日(木)・6日(火)・13日(火)・
20日(火)・29日(木)、7月4日(火)・11日
(火)・18日(火) 13:00~15:30

ところ 保健女性センター

内 容 入浴介助、床ずれ予防、歯の
衛生などの学習と実習

定 員 30人(先着順) 受講料 無料
申し込み 5月19日から受け付けます。

電話で保健女性センターへ

外国人のための日本語講座
ボランティアスタッフ募集

☎ 社会福祉課 内線 2312

と き 5月31日~10月25日
毎週水曜日

昼の部 10:00~11:30

夜の部 19:00~20:30

ところ 保健女性センター

対 象 日本語を教えることに情熱を
持っている人

募集人数 昼・夜 各5人(先着順)

申し込み 5月26日までに電話で社会
福祉課へ

糖尿病予防教室

☎ 保健女性センター 64-8993

と き 6月5日・12日・19日・26日、
7月3日・10日・17日または24日・
31日 各月曜日 13:30~15:30 (31日
のみ9:30~12:30) 計8回

ところ 保健女性センター

内 容 ●医師の話「糖尿病とは」

●食事療法の基礎、バランス食と外
食の注意など ●運動療法の話と実
技 ●個別健康相談 ●調理実習

対 象 血糖値が高く、改善の必要が
ある70歳未満の人やその家族、血糖
値の高い血縁者がいる人

定 員 20人(先着順)

申し込み 5月19日から受け付けます。
電話で保健女性センターへ

富士市植樹祭
~やすらぎの森林づくり~

☎ 林政課 内線 2574

緑豊かで安全な郷土を次代へ引き継
ぐために行う植樹祭に参加してみませ
んか。

と き 5月25日(木) 10:30~12:20

集合場所 市役所北側駐車場 9:00

※送迎バスが出ます。

ところ 桑崎字境塚1016番地
(雨天：富士木材センター)

内 容 式典、ヒノキの植樹、記念樹
配布

対 象 市内在住で自然に興味のある
人

定 員 20人程度

申し込み 5月19日までに電話で林政
課へ

5月は消費者月間

☎ 消費生活センター 64-8996

5月30日の「消費者の日」にちなみ、
5月を消費者月間としています。安心
で安全な消費生活を目指し、ゆとりあ
る社会を実現しましょう。

困ったときはまず電話

ご存じですか?消費生活相談

消費生活に関する相談や苦情など
について、専門相談員が解決のためのお
手伝いをします。勧誘を受けて迷った
ときや、契約をして困ったときは、で
きるだけ早く相談してください。

《消費生活相談》

と き 月~金曜日 9:00~16:00

ところ 消費生活センター(保健女性
センター2階)

5月の教育委員会会議

5月定例会を次のように開催します

と き 5月18日(木) 13:00~

ところ 市役所8階政策会議室

☎ 教育委員会教育総務課 内線 2748

~日曜納税・年金相談~

と き 5月28日(日) 9:00~16:00 ところ 市役所

★収 税 課 (3階) ...市・県民税、固定資産税の納付について

★国民健康保険課 (3階) ...国民健康保険税の納付について

★国民年金課 (2階) ...国民年金について

問い合わせ 収税課 内線2365、国民健康保険課 内線2343、国民年金課 内線2264

環境シリーズ No.24

ごみの減量化

平成11年度に市内から出されたごみ
の総量は10万550トンでした。10年度
と比較すると2.36%増加したことにな
ります。その主な内訳は可燃ごみ8万
7,064トン、埋立ごみ346トン、資源ご
み1万3,008トン、電池類96トン、罹災
物(火災ごみ)36トンとなっています。

市ではこれらのごみを可燃ごみ、埋
立、乾電池、瓶、缶、金属類、古紙(4
種類)に分類して収集しています。さら
に昨年度はウエス(繊維類)の集団回収

助成制度とペットボトルの拠点回収を
開始し、平成12年度からは新たに剪定
枝の資源化事業に取り組んでいます。

ごみの総量は人口増加などにより
年々増加の一途をたどり、ごみ総量の
削減や埋立処分場の確保は富士市が直
面する緊急課題となっています。

可燃ごみとして出されるごみの中
には、ペットボトルや古紙が混入してい
る例がまだ数多く見られます。

分別を徹底し、資源としてリサイク
ルできるものは指定の日に指定の場所
に出してください。また、ペットボ
トルは市内の拠点回収に協力していただ

いているスーパーなど54店舗に設置し
てある回収用ボックスへ、古紙は種類
(新聞紙・雑誌・段ボール・飲料用パッ
ク)ごとにまとめ、できる限り紙ひもで
縛って集積所へ出してください。

また、可燃ごみの中では厨芥類(生
ごみ)が約4割を占めており、その水分
を切って出していただくことで、相当
な減量効果となります。

市民の一人一人の努力がごみの減量
化につながります。皆様のご協力を
お願いします。

問い合わせ 環境衛生課 内線2051